

教えて先生

家計の事も考え、
そろそろ働きたいと思っていますが、
小さいうちから保育園に預けるよりは、
私と一緒にいてあげた方がいいのでしょうか？

ママの悩み

一歳の子どもがいます。家計の事も考え、そろそろ働きたいと思っていますが、周囲の人から

「そんな小さいうちから預けるなんて、可哀想」「小さいうちは、お母さんが一緒にいるべき」と言われます。確かにそうなのかな？と思いついて今迷っているところです。小さいうちから保育園に預けるよりは、私と一緒にいてあげた方がいいのでしょうか？

△お子さんが二歳になったので保育園に預けて働きたい、でも周囲が反対するので迷っているのね。でも大丈夫、保育園に預けるのが可哀想なんて思わないで！一歳に満たない赤ちゃんだって、二〜三日欠席した赤ちゃんを隣のベッドに見出すと、キヤッキヤツと声をあげて喜んでですよ。友だちを意識するんですよ。

幼い子どもを預けることへの罪悪感からの相談は現在でも少なくありません。先日、子育てに専念するために退職した職場への心残り、働く元同僚達の生き生きとした姿に比べ、二日中幼い我が子と向き合う変化のない生活。大人と会話したい等の焦燥感からイライラが募り、失いのような優しさそんな時、元の職場から週に二日でも勤めてと誘われ、近所の年配女性に相談したら「こんな幼い子を預けて働くなんて」と叱られた、私は最低の母親でしようか？と泣いて訴えられました。

多分、相談を受けた方は自分の子育て

時代の保育園のイメージを持ち続けているか、又子どもが幼い間は母親が傍らにいたほうがよいという価値観を絶対視している方なのではないでしょうか。

それも二つの考え方もありませんが、三歳未満児保育は長い歴史の中で現場の「よりよい発達のために」という研究や実践の努力で保育方法・保育条件等は、随分改善されてきました。

生活格差の広がりが問題視される昨今の社会の中で、家族が増え家計を助けるために働くというのは極めて自然です。働くことでママの心が充たされ、元気になったママと新鮮に触れ合えるお子さんも、きつと嬉しいと思いますよ。

でもね、次のことは常に念頭に置いて忘れず思い出してください。

かつて医事評論家の水野馨氏がその著者「夫と妻のための育児学」の中で「一生懸命努力している保母さんには申し訳ないが、保育園で過す時間を、10「家庭で過す時間が、3」であるとしても、与える影響は五分五分だろう」と述べており、私たち保育者は、親の与える影響の大きさにには適わないことを謙虚に受け止めています。

延長保育で一人残った子どもも淋しからせない保育を心がけていますが、夕方他の子どもがお迎えの保護者と嬉しそうに帰る姿を見てキレる子どもがいます。親を求める子どもの気持ちを大切にしようと捉えて欲しいのです。

半世紀以上の保育一筋の歩みの中で、

昨今の少子化対策としての子育て支援施策が、保育時間の拡大を中心に実施され、家族と子どもの触れ合う時間を確実に減少させ続けていることに疑問を持っています。

あけぼの期の子どもの心、気持ちを無視した働き方(働かせ方)は止めて欲しいのです。子育て中のママには残業や休日勤務はさせないで欲しい、病時の傍らには、パパがママがいて欲しい。中高年女性が働く場を求めているのです。育児休業期間の拡大は、むしろ、育児疲労や焦燥感を募らせるだけでしょ。収入の減少は育児手当の助成を願っています。

子育ての主役はあなた。保育園は応援団です。それを忘れず「仕事と子育てのバランス」を考えて預けて下さい。子どもたちは間もなく、生き生き仕事をするママを理解し、応援してくれますよ。ママ、がんばって！

藤岡 佐親子先生
ふじおか さきこ



1946年、京都女子専門学校保育科を卒業後、光沢寺保育園に入職。以後一貫して乳児保育に従事。現在、光沢寺第二保育園園長。北九州市保育所連盟会長、国際婦人開発基金(ユニフェム)日本国内委員会北九州地域等委員会会長、財団法人アジア女性交流研究フォーラム理事、同児童福祉施設等第三者評価委員会、同社会福祉審議会各委員等(以上、現職)、この間、全国社会福祉協議会全国保育士会会長、福岡県保育協議会副会長、同保育士会会長、福岡県立大学・西南女学院短期大学非常勤講師等を務める。

- 仲間達への定期便(西部読売開発出版部)
- 育てよう、いきいきっ子(共著、蒼丘書林)
- 子どもと環境(共著、蒼丘書林)
- 感性を育てる保育実践領域環境と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 感性を育てる保育実践領域人間関係と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 感性を育てる保育実践領域言葉と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 保育園の窓辺から…(蒼丘書林)